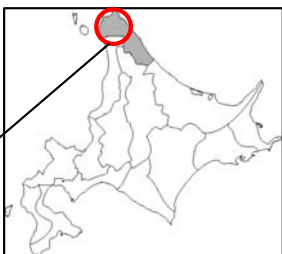


●地域の救急医療を支える 豊富バイパスの効果

- ・宗谷地域の医療の中心である稚内へのアクセス強化
- ・通行止め時の唯一の搬送路の確保
- ・線形に優れた豊富バイパスは搬送中の患者の負担の軽減
- ・第三次医療機関への時間短縮

●位置図

豊富バイパス



●稚内市へのアクセス強化

稚内市は、**宗谷地域で唯一センター病院や脳神経外科病院が立地**していることから、**周辺町村からの救急搬送が発生**している。搬送件数の推移からも、今後も本路線を活用したの救急搬送が見込まれる。

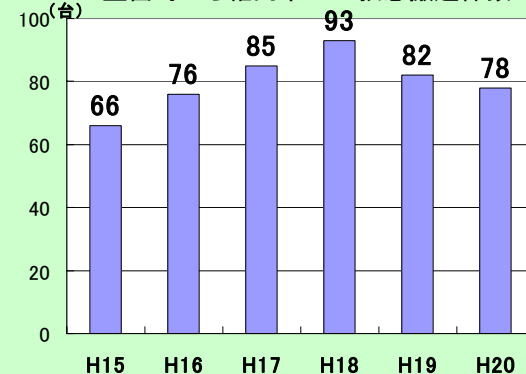
市立稚内病院(地域センター病院)



平成19年の周辺町村から稚内市への救急搬送件数



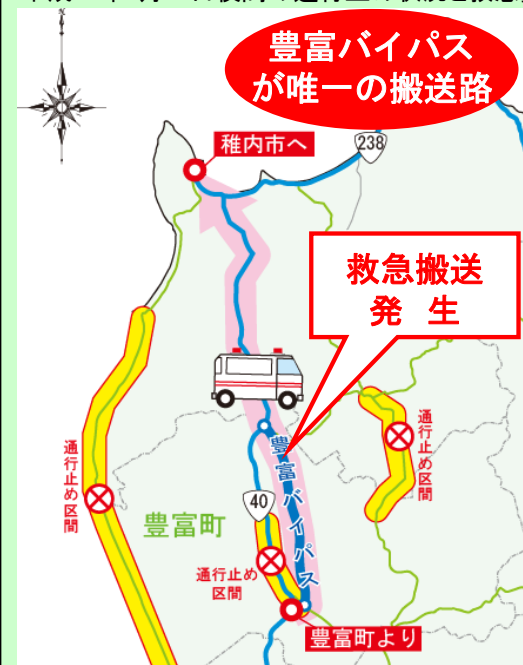
豊富町から稚内市への救急搬送件数



救急搬送を行う為、豊富町周辺地域では、迅速性・安全性・確実性が高い豊富バイパスを利用

●通行止め時の搬送路を確保

平成17年2月21日夜間の通行止め状況と救急搬送ルート



平成17年2月21日夜間に、豊富町から稚内市への救急搬送が発生、**国道40号等が吹雪により通行不能**となる中、救急車は**豊富バイパスを走行し搬送**。

●搬送中の患者の負担を軽減



患者の状況が特に悪い場合※、**医師の指示により、走行中の患者への負担が少ない豊富バイパスを走行**するケースがある。〔消防署(豊富支署)ヒアリング調査による〕

※主な病状は、脳梗塞、意識障害、虚血性心疾患、流産の疑い

●名寄側に接続する幌富バイパスの開通により第三次医療機関への時間短縮

(21年度供用予定) 稚内市から最も近い**第3次医療機関**である名寄市立総合病院への搬送が幌富バイパスの開通により**11分の時間短縮**に繋がる。



短縮時間算出は H17センサスによる

※所要時間には幌富バイパスを含む